

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和5年度においては、小中学校や青少年野外活動センターなど次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木施品による小中学校の椅子や机等整備を実施しました。
- ▶ また、区役所や交流会館といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、キッズスペースの備品や屋外ウッドデッキの整備を実施しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した屋外来庁者スペース整備事業

・多くの方が訪れる此花区役所の敷地内に国産木材を使用した来庁者スペース（パーゴラ、テーブル、ベンチ、掲示板）を設置することで森林保護の重要性の啓発を行った。

【事業費】 令和4年度 1,169千円（うち譲与税1,169千円）
令和5年度 31,128千円（うち譲与税31,128千円）

【実績】 令和4年度 設計業務を実施
令和5年度 公開・利用開始

□ 事業スキーム

・事後審査型制限付一般競争入札

□ 工夫・留意した点

・多くの方が来庁される区役所に、木材を活用した憩いの場を設けることで、木の良さを実感していただきながら森林保護の重要性の啓発を行った。



□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：310,620千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より